

大学院医学系研究科看護学専攻(博士前期課程)

1. 組織構成

看護学専攻(博士前期課程)は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3コース、5分野を設置しています。

看護学専攻のコース及び分野・専門領域

コース	分野	専門領域
看護学	基礎看護学	看護医科学
		基礎看護学
	臨床看護学	急性期成人看護学
		慢性期成人看護学
		小児看護学
		母性看護学
		老年看護学
	地域看護学	精神看護学
		在宅看護学
		地域看護学
助産学	助産学	助産学
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学

2. 専門領域および授業科目の概要

1) 専門領域

看護学コース

基礎看護学分野

看護医科学、基礎看護学の領域について教育を行います。最今、Evidence-based Nursing (EBN)が提唱され、看護の知識や技術に関する科学的な実証が不可欠となっています。基礎看護分野ではEBNの実践に必要な知識や技術の習得を目指します。

(1) 看護医科学領域

看護医科学においては、看護や介護における医学的な疑問点を、科学的に探求し、その

原因や解決法を見いだすための研究を行います。具体的にはアンケート調査や実験研究を中心とした講義、演習、研究を行います。

(2) 基礎看護学領域

基礎看護学は、人間・環境・健康との関わりの中で看護に関する課題を明確化し、課題解決に向けて科学的に探究する方法を学びます。看護に関わる先端技術やケアシステムの開発、生活習慣病などの病いとともに生きる人のセルフケア支援など幅広く関心のある看護のテーマについて探究します。

臨床看護学分野

急性期成人看護学、慢性期成人看護学、小児看護学、母性看護学及び老年看護学の領域について教育を行います。学部教育で得られた知識、技術及び深い倫理感を持って、さらに複雑な患者の状態、患者を取り巻く環境を客観的に分析、検討し、倫理と実践の関係を学習します。

(3) 急性期成人看護学領域

急性期成人看護学では健康危機の状況下やリハビリテーションの必要な対象者に適切な看護支援を提供するための基本となる知識・技術・態度について学びます。また、健康危機とそこからの回復を支援するため、成人看護領域に関する文献クリティークを行い、研究課題を明確化し、科学的プロセスに沿って、対象理解と効果的な看護実践を探求します。

(4) 慢性期成人看護学領域

慢性期成人看護学では、慢性病と共に生きる人に対する理解を深め、その人らしい生活を支援する看護について探求します。研究指導では、一連の研究プロセスを通して課題解決のための研究遂行能力を高められるよう指導します。特に、糖尿病・生活習慣病のケア・ケアシステムの開発を中心に、基礎的なエビデンスの構築や、セルフケアを支援する先進デバイスやアプリの開発・活用、テレナーシング・DXなど社会の要請に応えるための研究を幅広く行います。

(5) 小児看護学領域

現代社会における小児と家族の問題について、医療、保健、福祉、教育などの側面から関連する学問分野の諸理論と看護への活用方法を学びます。さらに小児保健、母子保健などの観点から小児看護を検討します。また、小児と家族に関する国内外の文献および研究論文をクリティークし、各自の研究課題を通して臨床での課題に効果的な支援を探究します。

(6) 母性看護学領域

女性の生涯を通じたりプロダクティブヘルス/ライツの視点から、生理的、心理・社会的な課題について、探求する能力を養います。具体的には、女性のライフサイクルにおける健康問題や臨床場面の問題について関連する理論を用いて分析し、自らの研究課題を明確にすることによって、女性とその家族の健康支援への貢献を目指して研究をすすめていきます。

(7) 老年看護学領域

老年看護学領域における看護実践において、対象者自身の生活および生命の質が重要となります。老年期にある対象者の看護を行う上で必要な理論や実践について学習し、さらに、疾患や障害の発症を対象者自身において人生の中の転機とし、自らの人生の中で意味づけ、機能し、発達するための援助について探求します。

地域看護学分野

精神看護学、在宅看護学、地域看護学の領域について教育を行います。「病院完結型」から「地域完結型」医療への変化・対応が求められる昨今、住民の健康づくりや、病気と共存しながらQOLの維持・向上を目指し、住み慣れた地域や住まいでの生活を支える専門的知識を学修し、研究および実践のあり方を探求します。

(8) 精神看護学領域

精神の健康障害をもつ人々への、就労や生活を支えるケア体制の充実が求められています。あらゆる発達段階にある当事者や家族へ

の看護課題に対して、理論の学修及び文献検討を通じて、各自のテーマを研究的に解決する研究遂行力を養います。特に、医療と福祉をつなぐ多職種連携によるケアシステムや、AI時代を迎える次世代を志向した精神看護学のあり方についても探究します。

(9) 在宅看護学領域

在宅看護学に関連する理論モデルを学習し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしい生活を送ることができるよう支援する能力を養います。在宅看護に関する諸制度と在宅ケアシステムを理解し、多様な職種と共に在宅療養者を支援するために、効果的な看護を探求します。講義や演習を通して、在宅看護に関する研究課題を見出し、研究計画を立て、自身の研究課題に沿った研究過程を体験します。

(10) 地域看護学領域

地域で生活するあらゆる人々を対象とし、その人らしい暮らしを支える健康の維持・向上を目標とした公衆衛生看護活動の在り方を検討します。具体的には、自身の実践を振り返り、課題を見出し、それを研究的に解決するための方法を検討します。また、各自の研究活動を通して公衆衛生看護実践における倫理観を高めると共に、課題解決過程で思考するための能力向上を図ります。

助産学コース

女性と家族の生涯にわたる健康支援をめざし、専門的知識に裏付けされた高度助産実践能力と周産期医療における高い倫理的感能力、およびマネジメント能力と研究教育力を備えた助産師を養成します。また、周産期医療分野のニーズと助産ケアの課題を適切に捉え、科学的な分析・研究能力を遂行する能力を養い、助産ケアについて探求します。

公衆衛生看護学コース

広く社会の公衆衛生向上に役立つ科学的根拠を活用もしくは産出できる研究能力を備え、複雑困難化する健康課題を解決し施策化できる高い実践能力を備えた保健師を育成します。

防災士資格をもつ保健師として災害等の健康危機管理や、胎生期からの生活習慣病予防活動を展開する能力を修得し課題を採求します。

2) 基盤科目

本学の目指す高度職業実践者として必要なケア実践能力、管理的能力及び看護を提供する場を改革するための研究方法に関する能力を修得するために、基盤科目として、理論看護学、看護倫理学、看護研究方法論1、看護研究方法論2、看護教育学、看護管理学、臨床科学、国際看護学特論、養護教育特論の9科目を開設しています。

各分野の授業科目と併せて学習することにより、効果的な学びが期待できます。

3. 履修方法等

1) 修業年限

修業年限は、2年を基準とします。

2) 修了要件

看護学コースの大学院生は、次の区分により30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 基盤科目5科目10単位以上
- ii) 専門科目のうち同一領域の特論・演習8単位
- iii) 専門科目のうちii)の科目以外の特論を1科目2単位
- iv) 研究科目10単位
- v) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

助産学コースの大学院生は、上記i)～iv)に加え、専門科目(助産学)31単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

※看護学コース及び公衆衛生看護学コースの学生は、専門科目(助産学)を履修できません。

公衆衛生看護学コースの大学院生は、上記i)～iv)に加え、専門科目(公衆衛生看護学)31単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

※看護学コース及び助産学コースの学生は、専門科目(公衆衛生看護学)を履修できません。

3) 単位修得評価

成績評価は、次の基準で行います。

秀	: 90点以上
優	: 80点以上
良	: 70点以上
可	: 60点以上
不可	: 60点未満

4) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(博士前期課程)における入学以前既修得単位認定について

入学前既修得単位の認定に関しては、別途定めます(「学則・規程」)。

4. 学位の授与

学位は、修士(看護学)とします。修士の学位は、大学院(博士前期課程)に2年以上在籍し、授業科目について看護学コースでは30単位以上、助産学コース及び公衆衛生看護学コースでは61単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を1年以上とすることがあります。

5. 2025年度行事予定

	月 日(曜日)	行事予定	対 象 者
前期	4月2日(水)	入学式	
	6月2日(月)～6日(金)	学位論文題目届受付(学務課へ)(注)	9月修了生
	6月30日(月)～7月4日(金)	予備審査論文提出(正午12:00までに学務課へ)	9月修了生
	7月7日(月)～11日(金)	予備論文審査期間	9月修了生
	8月1日(金)夕方	修士論文公開審査準備	9月修了生
	8月4日(月)	修士論文公開審査	9月修了生
	8月8日(金)	予備日(修士論文公開審査)	9月修了生
	8月18日(月)～22日(金)	審査報告書提出	9月修了生
	8月21日(木)	大学院入試(前期日程)	
	8月27日(水)	学位論文提出(正午12:00までに学務課へ)	9月修了生
	9月末 (詳細な日時は8月頃に決定)	学位授与・修了式	9月修了生
後期	11月10日(月)～14日(金)	学位論文題目届受付(学務課へ)(注)	3月修了生
	12月8日(月)～12日(金)	予備審査論文提出(正午12:00までに学務課へ)	3月修了生
	12月22日(月)～1月9日(金)	予備論文審査期間	3月修了生
	1月30日(金)夕方	修士論文公開審査準備	3月修了生
	1月31日(土)	修士論文公開審査	3月修了生
	2月2日(月)～9日(月)	審査報告書提出	3月修了生
	2月5日(木)	大学院入試(後期日程)	
	2月18日(水)	学位論文提出(正午12:00までに学務課へ)	3月修了生
	3月10日(火)	修了日	
	3月24日(火)	学位授与・修了式	3月修了生

(注)学務課受付時間 8:30～17:00

修士論文中間発表会は「10.修士論文発表会実施要領」の項を参照。

6. 2025年度 授業科目および担当教員

※これらは2025年度入学者の授業科目である。2024年度以前に入学した学生については従前の例によるため、大学院ガイド2024を参照すること。

区分	授業科目	履修年次	単位	担当教員	
基盤科目	理論看護学*	1・2	2	今井 多樹子、西村 亜希子、山本 麻理奈、金正 貴美	
	看護倫理学*	1・2	2	松本 啓子、山本 美輪、川本 美香、谷本 公重	
	看護研究方法論 1*	1・2	2	谷本 公重、山本 美輪、渡邊 久美、西村 亜希子	
	看護研究方法論 2*	1・2	2	市原 多香子、芳我 ちより、宮武 伸行	
	看護教育学	1・2	2	芳我 ちより、渡邊 久美、石井 有美子	
	看護管理学	1・2	2	川田 紀美子、今井 多樹子	
	臨床科学	1・2	2	藤井 豊、塩田 敦子、加藤 育子	
	国際看護学特論	1・2	2	山本 美輪、谷本 公重、川田 紀美子	
養護教育特論	1・2	2	石井 有美子		
専門科目	看護医科学特論	1	2	藤井 豊、塩田 敦子、加藤 育子	
	基礎看護学特論	1	2	今井 多樹子、山本 麻理奈	
	急性期成人看護学特論	1	2	市原 多香子	
	慢性期成人看護学特論	1	2	西村 亜希子	
	小児看護学特論	1	2	谷本 公重、石井 有美子	
	母性看護学特論	1	2	川田 紀美子、野原 留美	
	老年看護学特論	1	2	山本 美輪	
	精神看護学特論	1	2	渡邊 久美	
	在宅看護学特論	1	2	松本 啓子	
	地域看護学特論	1	2	芳我 ちより、川本 美香	
	看護医科学演習	1・2	6	藤井 豊、塩田 敦子、加藤 育子	
	基礎看護学演習	1・2	6	今井 多樹子、山本 麻理奈	
	急性期成人看護学演習	1・2	6	市原 多香子	
	慢性期成人看護学演習	1・2	6	西村 亜希子	
	小児看護学演習	1・2	6	谷本 公重、石井 有美子	
	母性看護学演習	1・2	6	川田 紀美子、野原 留美	
	老年看護学演習	1・2	6	山本 美輪	
	精神看護学演習	1・2	6	渡邊 久美	
	在宅看護学演習	1・2	6	松本 啓子	
	地域看護学演習	1・2	6	芳我 ちより、川本 美香	
専門科目(助産学)	基礎助産学	助産学特論Ⅰ(助産学概論)	1	1	野原 留美
		助産学特論Ⅱ(リプロダクティブヘルスと女性の健康)	1	1	野原 留美、原田 さゆり、三木 崇範、長谷 綾子、野口 修司、橋本 忠行
		基礎助産学Ⅰ(周産期学婦人科学)	1	2	塩田 敦子、金西 賢治、田中 宏和、鶴田 智彦、星野 克明、野原 留美
		基礎助産学Ⅱ(胎児学・新生児乳幼児学)	1	1	日下 隆、三木 崇範、小谷野 耕佑、野原 留美
		基礎助産学Ⅲ(薬理・臨床検査学)	1	1	金西 賢治、田中 宏和、塩田 敦子、加藤 育子、香西 祥子、野原 留美
専門科目(助産学)	助産診断・技術学	助産診断技術学Ⅰ(妊娠期)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		助産診断技術学Ⅱ(分娩期)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		助産診断技術学Ⅲ(産褥期・新生児・乳幼児)	1	1	野原 留美、谷本 公重、原田 さゆり、中村 信嗣
		周産期ハイリスクケア	1	1	塩田 敦子、田中 宏和、花岡 有為子、中村 信嗣、森田 啓督、多田 絵理、西条 順子、野原 留美

		助産診断技術学演習Ⅰ (妊娠期)	1	2	野原 留美、原田 さゆり、真砂 友理	
		助産診断技術学演習Ⅱ (分娩期)	1	2	野原 留美、原田 さゆり	
		助産診断技術学演習Ⅲ (産褥期・新生児・乳幼児)	1	1	野原 留美、原田 さゆり	
		実践助産学演習	2	1	野原 留美、原田 さゆり	
	母子保健	地域母子保健学特論	1	2	野原 留美、芳我 ちより、川本 美香、原田 さゆり	
	助産管理	助産管理学特論	1	2	野原 留美、原田 さゆり、塩田 敦子、榎野 久美子、佐々塚 恵美、神内 深雪、大内 亜弓	
	助産学 実習	助産学実習Ⅰ	1	8	野原 留美、原田 さゆり	
		助産学実習Ⅱ	2	2	野原 留美、原田 さゆり	
		地域母子保健学実習	2	1	野原 留美、原田 さゆり	
	専門科目 (公衆衛生看護学)	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論Ⅰ (概論)	1	2	芳我 ちより、川本 美香
			公衆衛生看護学特論Ⅱ (技術論)	1	2	川本 美香、芳我 ちより
			公衆衛生看護学特論Ⅲ (活動論)	1	2	川本 美香、芳我 ちより、渡邊 久美
			生活習慣病予防看護技術 特論	1	2	芳我 ちより、市原 多香子、宮武 伸行、 西村 亜希子、川本 美香
健康生成活動特論			1	2	芳我 ちより、三木 崇範、日下 隆、 南野 哲男、宮武 伸行	
公衆衛生看護管理特論			1	2	芳我 ちより、川本 美香	
公衆衛生看護管理演習			1	2	芳我 ちより、川本 美香	
公衆衛生看護倫理特論			1	2	芳我 ちより、川本 美香、※相原 洋子	
健康危機管理特論			1	2	川本 美香、芳我 ちより、長谷川 修一、三 好 正明、野々村 敦子、磯打 千雅子、医学部 関連教員、井面 仁志、寺尾 徹	
疫学		疫学特論	1	2	藤井 豊	
保健 統計学		実践統計特論	1	2	芳我 ちより、※日高 優	
保健医 療福祉 行政論		保健医療福祉行政特論	1	2	芳我 ちより、川本 美香、※横山 勝教、※星 川 洋一	
		保健医療福祉行政演習	1	2	芳我 ちより、川本 美香	
公衆衛生 看護学 実習		地域健康生活支援実習	1	2	芳我 ちより、川本 美香、林 信平	
		公衆衛生看護学実習	2	3	芳我 ちより、川本 美香、林 信平	
研究 科目		特別研究	2	10	各指導教員	

* 受講推奨科目 ※ 学外の非常勤講師

看護学コースの学生は、専門科目（助産学・公衆衛生看護学）を履修できません。